

2024年11月29日

関係各位

株式会社パテント・リザルト

【ゼネコン】特許資産規模ランキング 2024

トップ3は鹿島建設、大成建設、大林組

弊社はこのほど、独自に分類したゼネコン業界の企業を対象に、各社が保有する特許資産を質と量の両面から総合評価した「ゼネコン業界 特許資産規模ランキング 2024」をまとめました。2023年4月1日から2024年3月末までの1年間に登録された特許を対象に、個別特許の注目度を得点化する「パテントスコア」を用いた評価を行い、企業ごとに総合得点を集計しました。

その結果、1位 鹿島建設、2位 大成建設、3位 大林組となりました。

【ゼネコン業界 特許資産規模ランキング 2024 上位10社】

順位	企業名	特許資産規模	特許件数
1位	鹿島建設	6,783.9	241
2位	大成建設	5,732.7	245
3位	大林組	5,412.4	248
4位	清水建設	4,919.8	273
5位	竹中工務店	4,815.5	281
6位	フジタ	3,543.4	165
7位	奥村組	2,688.8	128
8位	五洋建設	1,242.6	55
9位	日本国土開発	1,213.7	22
10位	熊谷組	1,093.8	61

【算出方法について】

特許資産の規模とは、各出願人が保有する特許（特許庁に登録され、失効や権利放棄されていない特許）を「特許資産」としてとらえ、その総合力を判断するための指標です。特許1件ごとに注目度に基づくスコアを算出した上で、それに特許失効までの残存期間を掛け合わせ、出願人ごとに合計得点を集計しています。注目度の算出には、特許の出願後の審査プロセスなどを記録化した経過情報などを用いています。

経過情報には、出願人による権利化意欲、特許庁審査官による他社特許拒絶への引用、競合他社による牽制行為などのアクションが記録されており、これらのデータを指数化することで、出願人、審査官、競合他社の3者が、個々の特許にどれくらい注目しているかを客観的に評価することができます。

なお権利者情報は2024年6月時点のものを用いております。

1位 **鹿島建設**の注目度の高い特許には「摺動材を長尺化する場合でも安定した性能を発揮できる摩擦ダンパ」や「主桁の上に順次プレキャストコンクリート製の床版を設置することで高効率に橋梁を構築する方法」に関する技術が挙げられます。

2位 **大成建設**は「建物の施工計画立案時に適切なクレーンを自動選定するクレーン計画支援システム」や「1,4-ジオキサンと他の有機化合物を効率的に処理できる汚染水処理方法」に関する技術などが注目度の高い特許として挙げられます。

3位 **大林組**の注目度の高い特許には「金属異物の検知と除去により容器の破損を防止する汚染土分別処理システム」や「高耐火性を有する鋼材用の木質耐火被覆材」などに関する技術が挙げられます。

4位 **清水建設**は、JFEスチールと共同保有の「鉄骨梁付近の大きな開口を有するコンクリート床スラブの変形能力を確保する床スラブ付き鉄骨梁」、5位 **竹中工務店**は「木質耐火被覆材の脱落を抑制する鉄骨部材の耐火被覆構造」が、注目度の高い特許として挙げられます。

* * *

またパテント・リザルト社では、ランキングデータを下記の通り販売しています。

【ゼネコン業界 特許資産規模ランキング 2024 データ】

▶納品物：以下のデータを収録したエクセルファイルをメールで御納品※

(※データー式を収録した CD-R での御納品をご希望の場合はご相談ください)

- ・ゼネコン 特許資産規模ランキング (全期間トップ 50 と 2023 年度トップ 30)
- ・ゼネコン 登録特許件数ランキング (全期間トップ 50 と 2023 年度トップ 30)
- ・全業種 特許資産規模ランキング (全期間と 2023 年度のトップ 100)
- ・全業種 登録特許件数ランキング (全期間と 2023 年度のトップ 100)

▶価格：50,000 円 (税抜)

【個別特許の評価データ】

個別特許の評価データを別途ご希望の場合は、お問い合わせください。
件数に応じて右表の単価が適用となります。

件数	単価 (税抜)
1件～499件	1,000円/件
500件～999件	600円/件
1,000件～4,999件	500円/件
5,000件～9,999件	300円/件
10,000件～	お問い合わせください

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社パテント・リザルト 事業本部 営業グループ

URL : <https://www.patentresult.co.jp/>

e-mail : info@patentresult.co.jp